

「JEITAベンチャー賞」受賞7社が決定

— ベンチャー企業との協創・連携を促進 —



電子情報技術産業協会 (JEITA) では、Society 5.0及びIoT/CPS社会実装による新ビジネスの創出に向け、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業との連携・エコシステム構築支援のため、昨年度「JEITAベンチャー賞」を創設し、新たな「共創」を推進すべく取り組みを進めてまいりました。

JEITAベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展、経済発展に貢献しうる優良ベンチャー企業について、成長性・先導性、波及性、社会性の3つの視点から学識経験者等で構成する審査委員会において審査・選考し、表彰するものです。

第2回「JEITAベンチャー賞」は、昨年12月12日から本年2月1日まで約1カ月半にわたり募集した後、厳正な審査の結果、7社の受賞が決定し、平成29年3月16日に開催された表彰式でJEITA東原会長より表彰状と盾が贈呈されました。

受賞企業には、JEITAホームページ等で紹介するとともに、JEITAの会員企業との交流支援、CPS/IoTの総合展として生まれ変わった「CEATEC JAPAN」への出展、また今年度からスタートした「ベンチャー優遇特例制度」を活用していただくこととなります。

今後もJEITAでは、異業種、ベンチャー、海外等とも

連携し、IT・エレクトロニクス産業ならびにわが国の経済・社会の発展に貢献すべく、JEITA「ベンチャー賞」をはじめ新たな取り組みを進めて参ります。

(1) 株式会社アプライド・ビジョン・システムズ

審査評価

(株)アプライド・ビジョン・システムズは、3次元視覚技術をベースに、ステレオビジョン、レーザー計測及びGPSを融合させた高精度な3次元計測及び物体認識を実現するソリューションを提供している。ソリューションの代表的な事例としては、高精度の立体地図作成、道路や道路周辺インフラの点検、スポーツイベントにおける高精度の距離計測、ロボットの視覚システム、異物検査及び身体計測等がある。アプライド・ビジョン・システムズは、今後も幅広い領域での発展を期待できる。

(2) エアロセンス株式会社

審査評価

エアロセンス(株)は自社製の自律型無人航空機によるセンシングとクラウドによるデータの処理、管理を組み合わせた産業用ソリューションの開発・製造・販売を行っている。ソリューション例として、1)「南三陸町震災復興事業」で、従来手法1/3の工期で90ha全域の工事進捗の定量化、可視化を実施、2) 福島第一原子力発電所事故によ



る160カ所の除染した除去物の仮置き場の点検のための上空からの撮影を1区画あたり30分程度で実現、3) UAV測量ワークフローの完全自動化の実現、などの今後の高齢化社会に必要とされている新たなソリューションを提供している。今後この分野でのさらなる貢献が期待される。

(3) 株式会社エクスビジョン

審査評価

(株)エクスビジョンは、先進の高速画像処理技術をロボット、FA、映像メディア、自動車、ドローン、医療分野などへ適用するアプリケーションの開発を先導して手がけている。エクスビジョンが手がける高速画像処理は、空間分解能の向上に加えて時間分解能の向上を重視し、様々な物体の動きを正確に検知、認識することが可能である。加えて、AI技術との融合によって、行動認識を更に高精度にしている。エクスビジョンは、今後も他社で行っていない、先進的な高速画像処理技術を開発すると期待される。

(4) 株式会社Kyulux

審査評価

(株)Kyuluxは、九州大学で発明された熱活性化遅延蛍光材料(TADF: Thermally Activated Delayed Fluorescence)とHyperfluorescence(TADFと蛍光材料を組み合わせた材料)に関連する特許の独占実施許諾または譲渡を受け、高効率発光、低コストに加え高純度な発光色の実現に取り組んでおり、次世代の有機ELディスプレイ、有機EL照明の実用化を進めている。2016年11月にRed HerringのGlobal Winner 100に選出され、世界的にも注目されている。フレキシブルディスプレイや透明ディスプレイなどの新たな用途への応用が期待されている有機ELの材料開発ベンチャーとして、今後の発展が大いに期待できる。

(5) 株式会社フェニックスソリューション

審査評価

(株)フェニックスソリューションは、金属対象物でも読み取り可能なRFIDタグの開発に世界で初めて成功した。この技術により、従来手作業による膨大な手間と人件費がかかっていた金属資材管理の作業時間の削減が可能となる。従来難しいとされてきた金属資材や資産の一括管理ができるようになり、サプライチェーン全体にわたるトレーサビリティ管理やセンサー等との連携でインフラ管理に適用されることで、社会全体のIoT化を加速することが期待される。

(6) 株式会社FLOSFIA

審査評価

(株)FLOSFIAは、産学連携により先駆的に開拓したミストCVD成膜技術に基づき、簡便、安価、安全に、多種多様な金属酸化物の薄膜形成を可能とし、太陽電池や有機デバイスなど様々な用途・産業分野で薄膜ソリューション事業を展開している。また、最近では、次世代パワーデバイスとして期待される酸化ガリウム(Ga₂O₃)半導体のデバイス試作にも成功し、今後の発展を大いに期待できる。

(7) 株式会社MUJIN

審査評価

(株)MUJINは、画像認識結果によって、事前のプログラムを必要とせず、自らピッキング動作を自動生成・実行する知能ロボットの制御技術を開発している。膨大な手間と時間を必要とするティーチング作業が不要になることから、短期間でロボットを生産現場に導入できるようになる。多品種少量生産の製造現場に向くほか、人手不足が問題となっている物流業の作業効率向上にも効果が期待される。